

# 石川県七尾美術館だより

平成15年10月10日発行  
編集・発行 石川県七尾美術館

## 第35号(秋号)



ISHIKAWA  
NANAO  
ART MUSEUM

「2003イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」より

「ポロンの旅」

はぎの ちなつ(日本)



# 展覧会紹介

平成15年10月10日(金)～  
12月7日(日)  
休館日については裏表紙をご覧ください

「2003 イタリア・ポローニャ 国際絵本原画展」

11月7日(金)～12月7日(日)

「会期中無休」

## 第一・第二・第三展示室

本展は毎年四月、イタリアの古都ポローニャ市で行われる「児童図書専門見本市」の中で開催される、絵本原画の公募展です。

イタリアでの本展は、昭和三十九年に初めて開催され、日本では昭和五十三年に初めて紹介されました。

五枚一組であれば誰でも応募できることから、絵本作家やイラストレーターたちの登竜門として世界的に注目されており、厳選された作品群は芸術的とも言えます。



「おかしなともだち」井川ゆり子(日本)

今年も世界各地から二千四百人以上の応募があり、その中からフイクション部門の八十五作家作品と、ノンフィクション部門より十作家作品を加えて一堂に展覧します。



「アントニ・ガウディ」  
ヴィターリー・コンスタンチノフ(ロシア)

この展覧会は、毎年国内四、五会場を巡回しますが、日本のイラストレーターたちへの影響も年々大きくなっており、今年の日本人入選者は十七人となりました。これら入選者の中には、「学生の頃、毎年のようにポローニャ展を見にきてい

た。毎年恒例の特別展示は、一九九九年に王室より初代名誉児童文学作家の称号を授与され、二〇〇二国際アンデルセン賞画家賞を受賞したイギリスの人気イラストレーター、クエンティン・ブレイクの、図録表紙書き下ろしなど十九点を紹介します。



「すごい話」グレゴワール・マビル(フランス)

たので、自分が入選したというのが驚きです。」と言う人が多いので、是非子どもたちや学生の方にもご覧いただきたいと思えます。きつと、将来の絵本作家が埋もれていることでしょうか。



「グレッグは」とってもふしぎなヒツジ」  
ハンニグ・レーライン(ドイツ)

毎年恒例の「子どもワークショップ」や「子ども映画上映会」も開催します。詳しくは五ページをご覧ください。

第三展示室においてイタリアでのポローニャ本展を紹介するビデオを上映します。

一階休憩コーナーや第三展示室において、出品作家の絵本や「未来に残す絵本一〇〇選」に選ばれた絵本などを自由にご覧いただけます。かわいい絵ハガキ(十六種類)や図録も販売しますので、お楽しみに！

### 観覧料

	一般	個人	団体
大高生	700円	600円	300円
	350円	300円	

中学生以下無料・団体は二十名以上です。

香りの記念日10周年記念事業

## 「香りを彩る器展」

いろいろな香炉・香合たち」

10月10日(金)～26日(日)

### 第一展示室

日本の「香りの文化」の創始は古い時代にまで遡るとされ、奈良時代以前に外国より伝来したといわれます。

その使用については、粉末や液体の香料を直接身体に付ける方法と、火中に入れて焚く、加熱してあぶる方法がありますが、日本の歴史においては後者が主に利用され、人々は香木や練香を焚き、その風雅な香りを楽しみました。

そして「香りの文化」に欠かす事のできないのは、香を焚くための道具です。それらは各時代の人々の趣向や用途にあわせて色々な材質や形が求められ、様々な技法を駆使したバラエティあふれる道具が制作されました。また、中国など諸外国から輸入されたものや、見立て転用した道具なども使用され、多種多様な道具が現在に伝えられています。そこには各時代における美に対する日本人の感性が色濃く反映されています。

七尾市は毎年十月三十日を「香りの記念日」と



石川県指定文化財  
「和蘭陀白雁香合」 デルフト窯  
オランダ(17世紀)  
石川県立美術館 蔵

してこれまで活動を行ってききましたが、本年は「香りの記念日」制定十周年にあたります。そこで当館では十周年記念の特別展として、香炉、香合といった香りに関する道具など計四十点を紹介します。



重要美術品  
「法花蓮池水禽文大香炉」  
明時代(16世紀)  
金沢市立中村記念美術館 蔵

本展ご観覧者先着二〇〇名の方に「江曾アテお香(江曾アテから抽出したオイルをもとに作られた練り香)」をプレゼントします。

(香りの記念日事業実行委員会提供)

## 「秋の所蔵品展」四季の香り」

### 第二展示室

今回の「秋の所蔵品展」は、第一展示室で開催する香りの記念日十周年記念事業「香りを彩る器展」にあわせて「四季の香り」と題し、日本画十一点・洋画十二点・工芸八点の計三十点を紹介します。

私たちは、いつも様々な香りによって四季を感じ、心と心、自然の恵みを感じながら生きています。

す。今回は、直接香る花や果物以外にも、季節特有の光や風を感じる風景画まで幅広く展示します。絵や器などに描かれた色々なものを通して、日本特有の四季の香りを感じてください。



秋 「織部輪花南瓜葉文台鉢」



春 「静夜芳香」 水道秋聖



冬 「灘浦海岸」大地 統



夏 「沈金象嵌合歡図色紙箱」  
山岸一男

### 共通観覧料

大高生	一般	個人	団体
350円	500円	400円	300円

中学生以下無料・団体は二十名以上です。

## 「第50回 七尾市美術展覧会」

10月31日(金)～11月4日(火)  
但し、最終日は午後4時まで

### 第一・第二・第三展示室

公募した市民の力作から厳選された六部門(日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真)の入選・入賞作品と、審査員・無鑑査作家の作品が展示されます。



昨年の展覧会の様子

入場料 無料

主催 七尾市文化協会

共催 七尾市・七尾市教育委員会・財団法人七尾美術館

後援 北國新聞社・ラジオななお

連絡先 七尾市文化協会事務局

☎〇七六七(五三)〇五九六

## 市民ギャラリー展覧会案内

### 第8回 洋画展 NOTO

10月15日(水)～19日(日)  
但し、最終日は午後4時30分まで

絶えず創作の原点に立ち帰り、風土に根ざした明日の洋画の開拓を志す同人十一名による大作の発表展。同人二名による試作品小作品群も併せ展

示致します。

入場料 無料

主催 洋画展NOTO

後援 七尾市教育委員会・七尾市文化協会・七尾美術作家協会・北國新聞社・テレビ金沢・ラジオななお

連絡先 大地 統

☎〇七六七(五三)〇二〇七

## 能登地区高校美術展

10月24日(金)～26日(日)  
但し、初日は正午から  
最終日は午後3時まで

能登地区の高校生の展覧会です。美術部・写真部・書道部の作品百五十点を展示します。内的必然性に基づくこと、追求するまなざしの堆積であること、形式化しないことを指標として制作しています。

入場料 無料

主催 石川県高等学校文化連盟・石川県教育委員会

後援 七尾市教育委員会

連絡先 川崎 輝

☎〇七六七(五九)一〇六八

## 第12回 写団「のと」写真展

12月19日(金)～21日(日)  
但し、最終日は午後4時50分まで

知性豊かなメンバーが、年に一度思いのままに自己表現する写真展です。心なごむスナップ、美しい風景など、一瞬を切り取る写真ならではの作品を展示します。過去一年間に各コンテストで入賞入選した会員の作品も展示します。

入場料 無料

主催 写団「のと」

後援 七尾美術作家協会・七尾市文化協会・北國新聞社・ラジオななお

連絡先 山形明生

☎〇七六七(五三)四〇八六

## アートホール催し物案内

### わくわく少女合唱団5周年・和倉フロイデ10周年記念コンサート

10月19日(日) 開演 午後1時30分

心豊かで歌声が流れる湯の町づくりをめざして結成された子どもと大人の合唱団です。

歌い継がれた曲と童謡中心の心が和む記念コンサートです。どうぞお聴き下さい。

入場料 無料

主催 和倉公民館

後援 七尾市教育委員会・北國新聞社・ラジオななお

連絡先 和倉公民館(多田真令美)

☎〇七六七(六二)二〇八四

## MAYUMIとHIRROMIのハートフルコンサート

10月26日(日) 開演 午後1時

何曲か曲を作ってみました。優しいMAYUMIさんと一緒に、オリジナルの発表をしてみたい。そんな思いで今回の企画となりました。ピアノや歌、大正琴も加わってちょっぴり欲ばったコ

ンサートです。みなさんのご来場をお待ちしております。

入場料 無料

主催 ポコ・ア・ポコ/HIRROMI

後援 琴修会・石川県立七尾養護学校・石川織姫会  
(鹿西教室)・北國新聞社・ラジオななお

連絡先 大河内博美

☎〇七六七(七四)一六〇六

### 第5回 アルブルクラシックコンサート

11月9日(日) 開演 午後2時

七人によるピアノ独奏のコンサートで、シヨパンやリスト、ブラームスなどの作品を演奏します。また、今回は声楽家の中島恵理さんをお招きして、日本の歌やオペラのアリアも楽しんで戴きたいと思えます。どうぞお気軽にご来場下さい。

入場料 大人一、〇〇〇円 小学生以下 七〇〇円

主催 アルブル

後援 洗足学園魚津短期大学同窓会・北國新聞社・ラジオななお・(株)河合楽器製作所

連絡先 谷 栄美  
☎〇七六七(五三)一一二四

### メロデイ音楽会

11月16日(日) 開演 午後1時30分

二年に一度開かれる発表会です。耳なじみのクラシックからアニメまで、ジャンルを問わずお気に入りの曲を演奏します。皆さんにも、心に残る一曲がきつと見つかるはずですよ。

入場料 無料

主催 松本由美子門下生  
後援 (株)開進堂楽器

連絡先 松本由美子

☎〇七六七(五三)七〇六八

### dolceピアノコンサート

11月23日(日) 開演 午後1時30分

子供から大人までのピアノ発表会です。ブルグミュラー特集や三人の講師による、どんな曲が飛び出すかわからない、お楽しみコーナーがあります。どなたでもお気軽に御来場下さい。

入場料 無料

主催 ピアノグループdolce

後援 (株)河合楽器製作所

連絡先 井藤真理

☎〇七六七(五八)一三五五

### 第8回 干場一葉門下生ピアノ発表会

12月7日(日) 開演 午後1時30分

年に一回開かれるピアノ発表会です。子供から大人までお気に入りの曲を演奏します。ピアノソングの他、ピアノ三重奏、六種連弾なども演奏します。どうぞ、お気軽にご来場して下さい！

入場料 無料

主催 干場一葉門下生

後援 北國新聞社・ラジオななお

連絡先 干場一葉

☎〇七六七(七四)一三五二

### 当館主催の催し

映画上映会 【入場無料】

「彫漆〜音丸耕堂のわざ〜」(30分)

日時 10月11日・25日 午後2時  
会場 アートホール

### ポロニーヤ展特別企画

子どもワークショップ 【参加費無料】

「かんたん絵本を作るよ！」

日時 ポロニーヤ展会期中毎週土・日曜日  
午後2時〜4時

対象 4歳〜小学生(未就学児は保護者同伴)

定員 各日10名(要申し込み)

募集 10月15日より電話受け付け開始

会場 1階休憩コーナー

子ども映画上映会 【入場無料】

日時 11月8日・22日、12月13日  
午後1時

会場 アートホール

### 博物館実習生日記

学芸員になるためには「博物館学芸員資格」が必要で、この資格は大学の講義で取得することができますが、そのためには各自、博物館で「博物館実習」を受けなくてはなりません。

当館では毎年数名の実習生を受け入れており、今年も二名の実習生がやってきました。実習を終えた彼女たちの素直な感想です。

### 美術館の仕事とは？

京都外国語大学3年生 飯山幸子

八月十四日〜二十日までの一週間という短い期間での博物館実習でしたが、調書作成や美術品の取り扱い、展覧会準備等の作業だけではなく、ラジオななおでの展覧会の宣伝や展覧会印刷物の準備、ワークショップ補助といった、なかなか学校の授業でも、他の美術館でも体験出来ない事に参

加させていただき、貴重な経験を得る事が出来ました。又、美術館・博物館は、学芸員を含めた美術館スタッフのみで成り立っている訳ではなく、ボランティアさんや地域の人々と助け合っているからこそ成り立っているのだという事を、今回の実習で、実感すると共に、私が持つ美術館や学芸員という仕事に対する考えを深めてくれる良い機会となりました。実習期間は短かったのですが、内容の濃い博物館実習を受ける事が出来、充実した日々を過ごせました。ありがとうございました。

金沢大学4年生 松本有未

八月十四日から二十日の七日間、学芸員免許取得のための博物館実習をさせていただきました。実習内容は美術品取り扱いと調書作成、ポスター展示作業、作品貸出見学、と盛り沢山。受付や監視業務、等伯展特集のラジオ収録まで体験させていただきました。さまざまなお仕事を体験し、また講義等で、学芸員以外の職員の方々にもお話を聞く機会があり、美術館は学芸員だけでなく、他の職員の方々、ボランティアの方がいてこそ成り立つものと実感しました。現在、博物館では資料の保管、調査、展示の他、普及活動にも力を入れるようになってきています。七尾美術館でもワークショップや展覧会の広報活動を行っていて、そういったことも体験させていただき、大変勉強になりました。お世話になった学芸員の方はじめ、職員、ボランティアの方々、本当にありがとうございました。



左から当館学芸員、松本さん、飯山さん

## 新 ミュージアムグッズ紹介

当館では色々なオリジナルグッズを販売していますが、今回、二種類の新しい仲間が加わりましたのでご紹介いたします。

### グッズ①

「池田コレクション」 ～ 工芸絵画を中心に ～



当館所蔵品「池田コレクション」百四十七点の内、工芸と絵画を中心に五十二点の作品を選択して掲載した小冊子です。

コンパクトサイズで鮮やかなグリーンの表紙です(五〇〇円)

### グッズ②

「長谷川等伯年表」



七尾市出身の画家・長谷川等伯は当館の重要なテーマですが、これは等伯の生涯を出来るだけ詳しく記載した年表です。

ポケットにも入る大きさで携帯にも便利です(一〇〇円)

## ボランティアの部屋へようこそ！ Vol.1

当館では展示室の監視員としてボランティアさんにお手伝いしていただいています。現在ご活躍のボランティアさんの声を聞いてみました。

今年の四月よりボランティア監視員をさせていただきます。ただいまですが、絵に興味があった為、素晴らしい作品に囲まれた中で出来ることを大変嬉しく思っています。今まであまり知らなかった長谷川

等伯について、学芸員さんのお話を耳を傾け、四百年程前の絵を見ると、胸が熱くなる思いがします。名作を見に少しでも多くの方が美術館へ足を運んでくだされば良いと思います。



清水美奈江

石川県七尾美術館の、県下初の試みというボランティア監視員募集に、市民として建設を待ちわびていた私はお役にたきたいと応募しました。今まで国内外の美術作品の出会いと来館者や知人とのふれあい等、こんな素晴らしいボランティア活動ができる幸せに、心から感謝しております。



松田 茂子

私がボランティア監視員を希望するに至ったきっかけは記憶に定かではありませんが、兎に角、美術品を監視業務の合間に無料で見られるだろうという、浅ましくも単純な発想からでした。然し、展示室では行儀の悪い格好や服装は許されません。先のボランティア会議の席で嶋崎館長さんが、いみじくも話された「監視員のみなさんもお客様から常に監視されている事を忘れないように」とのお言葉を胸に刻んで日頃の監視業務に励んでおります。



堂下 武雄

ボランティアに興味をお持ちの方はお気軽に！  
ボランティア係 ☎〇七六七(五三)一五〇〇

## 「友の会鑑賞の旅」を終えて

今回の『友の会鑑賞の旅』は過去最大規模で開催されるといって、生誕百年記念展 棟方志功 わだばゴッホになる。鑑賞をメインに、去る六月二十二日(日)、二十七名の参加者の皆さんとともに富山方面へ行って来ました。

暑くなく、寒くもなくちょうど良い(?)曇り空の下、元気に七尾美術館駐車場を出発!

「棟方志功」展高岡会場の高岡市美術館へ予定時間よりかなり早く到着。開館時間前だったため途中になっていった車中解説の続きを急遽前庭で行うというハプニング。期待に胸を膨らませ入館すると、広々としたロビーに案内され、同館の遠藤館長がごあいさつ、主な作品の解説をしてくださいました。力みなぎるすばらしい作品の数々、高岡でしか展示されない大型の作品や珍しい版画、下絵など見ごたえ充分の展示を皆さんじっくり堪能されていました。

昼食は瑞龍寺の参道(八丁道)沿い『かに吉』で「かにわっぱめし」に舌鼓 味にこだわる店主は料理が冷めてしまわない時間どおりの到着。そしてマナーも良いこの『鑑賞の旅御一行』をいたく気に入ってくれ、バスが見えなくなるまで見送ってくださいました。



参加者の皆様(高岡市美術館にて)

次の見学地は国宝、高岡山・瑞龍寺。寺院内を常駐ボランティアガイドさんに案内してもらいながら見学しました。ペテランのガイドさんによる解説は、史実に基づく話から建築に関する話、座禅修行に関する話まで幅広くかつ解りやすく、大好評でした。

最後に「棟方志功」展福光会場となっている福光美術館を見学。同館の尾山学芸普及課長が福光疎開時代のエピソードを交えながら、展示作品を一点、一点解説してくださいました。そのお話からは、ゆかりの地で本展覧会が開催されたことに対する喜びと、志功に対する熱い思いが伝わってきました。

参加者皆様のご協力のもと、「感動いっぱい」の楽しい旅となりました。ありがとうございました。

## 子どもワークショップ報告

美術館では密かに、未来の彫刻家を生み出すという野望を抱き、彫刻の楽しさを味わってもらおうと、ブロンズ粘土を用いて、彫塑体験ワークショップ「子どもアーティスト誕生！」を開催しました。

七尾市在住の彫刻家、渡部浩氏と吉田隆氏を講師にお招きし、七月二十四・二十五日十六人(吉田氏)、七月二十八・二十九日十五人(渡部氏)、八月二十・二十一日十四人(吉田氏)の三回合わせ、小学生三十五名の参加で行われました。募集をかけたその日から、電話が鳴り始め、遠くは金沢から二日間通ってくれたお友達もいました。



渡部 浩 氏

作業に取り掛かる前に、知っているようで知らない彫刻作品の作り方や、素材



吉田 隆 氏

についての話を聞き、作品づくりに必要なポイント「自分が作りたいものを作る」ということを頭に置き、作品づくりは始まりました。

まず紙にデザインを描きます。子ども達のデザイン画は、その形を支える心棒の構造など、おかまひなしに自由に描かれました。

平面に描いた二次元のデザイン画を三次元の立体にするために、講師の先生と子ども、我々職員も四苦八苦です。子どもたちも、どうすれば自分が思い描く形を実現させることができるか、アドバイスを受けながら取り組みました。対象をじっくり観察し、よりリアルに迫力ある表情や優しい表情を生み出すには……。

金網やネジクギに針金、ビー玉におはじき、貝殻やビーズなど様々なものが粘土と合体し、具象的なものから抽象的なものまで誰にも真似できない、自分だけの作品が出来上がりました。

会場となった美術館アートホールには吉田雪山氏や渡部氏作のブロンズ作品が展示され、普段の展覧会では体験できないほど、作品に近づき鑑賞することのできる場が設けられました。また、開催中の展覧会には吉田隆氏の作品も出品されるなど、参加した子どもたちには、作品とその作家に触れ合う貴重な体験となつたことでしょうか。

今回のワークショップは、大盛況でした。定員に達してしまい参加することのできなかつた皆さん、また次回のワークショップでお会いできるのを楽しみにしています。





# これからの展覧会予定



## 第1・2展示室



「黎明 74」勝本富士雄

### 「冬季・所蔵品展」

～日本画と書の魅力～・～洋画に見る具象と抽象～・～木の魅力～

平成15年12月13日(土)～平成16年2月22日(日)

当館所蔵品及び寄託作品のなかから、3つのテーマに合わせて日本画・洋画・彫刻・書などを展示します。

## 第1展示室

### 「春の選抜展」

～池田コレクション・茶道具の名品～

平成16年2月28日(土)～4月11日(日)

当館では毎年春の時期には、所蔵品より茶道美術品の展示を行ってきましたが、今回も「池田コレクション」を中心に各種茶道具を紹介予定です。



「竹茶杓」 古田織部

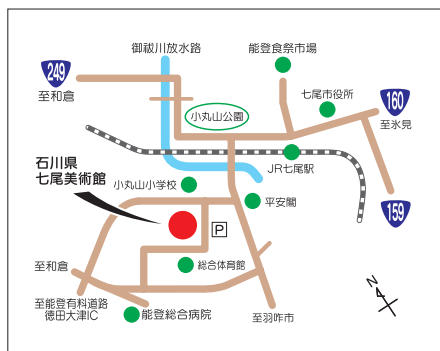
## 第2展示室

### 「能登ゆかりの作品展9」

～能登の文人画家たち～（仮称）

平成16年2月28日(土)～4月11日(日)

江戸時代、能登半島では多くの文人画家が活躍しています。特に志賀・羽咋を中心とした地域で活躍した「能登の大雅堂」・池野観了、独自の表現を追求した孤高の画家・山崎雲山などはその代表といえ、多くの傑作を描いています。また、その他にも能登各地には色々な画家の様々な作品が所蔵され、活躍の足跡を残していますが、本展では「能登の文人画家」に焦点をあて、各作品を紹介予定です。



### 交通案内

車.....金沢より能登有料道路  
利用約1時間20分

タクシー...JR七尾駅より約5分

徒歩.....JR七尾駅より約20分

市内循環バス...JR七尾駅より西回りに  
(まりん号) 乗車約6分  
(午前9時～午後4時の毎時30分発)

### 休館日のお知らせ

(10月～12月)

10月 6～9、14、20、27～30

11月 5～6

12月 8～12、15、22、24～31

次号・第36号(冬号)は1月4日発行予定です。